

平成 30 年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

児 童 家 庭 福 祉

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「児童福祉法」に定められている国及び地方公共団体の責務に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 市町村（特別区を含む。以下同じ。）は、基礎的な地方公共団体として、児童の身近な場所における児童の福祉に関する支援に係る業務を適切に行わなければならない。
- 2 都道府県は、市町村に対する必要な助言及び適切な援助を行う。
- 3 国及び地方公共団体は、児童が家庭において心身ともに健やかに養育されるよう、児童の保護者を支援しなければならない。
- 4 国は、市町村の区域を超えた広域的な対応が必要な業務を適切に行わなければならない。
- 5 国は、市町村及び都道府県に対する助言及び情報提供等の必要な措置を講じなければならない。

問2 次の文は、わが国の児童家庭福祉の歴史に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 高木憲次は、1916(大正5)年から肢体不自由児の巡回療育相談事業に取り組み、1921(大正10)年には「柏学園」を設立した。
- B 1933(昭和8)年に制定された「児童虐待防止法」では、16歳未満の者に対する虐待や酷使、人身売買等の不当な取り扱いの禁止を規定していた。
- C 糸賀一雄は、1946(昭和21)年に知的障害児施設「近江学園」を、1963(昭和38)年には重症心身障害児施設「びわこ学園」を設立した。
- D 1900(明治33)年に野口幽香と森島峰が開設した「二葉幼稚園」は、貧困家庭の子どもを主な対象としたものであり、その後の保育事業の先駆けとなる取り組みといわれている。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問3 次の文は、平成26年8月に閣議決定された「子供の貧困対策に関する大綱」（以下、大綱とする。）に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 大綱で示された子供の貧困に関する指標によると、児童養護施設の子供の高等学校等卒業後の進学率は、就職率よりも高かった。
- 2 大綱で示された子供の貧困に関する指標によると、ひとり親家庭の子供の高等学校卒業後の進学率は、就職率よりも低かった。
- 3 大綱では、学校と福祉関連機関等との連携として、児童生徒の感情や情緒面を支援するスクールソーシャルワーカーの配置推進を図るとしている。
- 4 大綱では、悩みを抱える学生が互いに話し合えるネットワークの構築のために、学生が学生の相談に対応するスクールカウンセラーの仕組みの整備を推進するとしている。
- 5 大綱では、国際化の進む社会の各分野で活躍できる青年の育成を図るため、多様な教育・研修の機会が得られるよう、意欲ある青年に対する参加支援に努めるとしている。

問4 次の文を「児童の権利に関する条約」第18条の記述の一部として完成させる場合、
(A) ~ (C) の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい
組み合わせを一つ選びなさい。

第18条

- 1 締約国は、児童の養育及び(A 生活)について(B 父母)が共同の責任を有する
という原則についての認識を確保するために最善の努力を払う。(B 父母)又は場合
により法定保護者は、児童の養育及び(A 生活)についての第一義的な責任を有する。
(C 児童の最善の利益)は、これらの者の基本的な関心事項となるものとする。
- 2 (略)
- 3 (略)

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ |

問5 次の文は、「児童福祉法」に基づく子育て短期支援事業に関する記述である。適切な
記述を一つ選びなさい。

- 1 この事業は、保護者の疾病を理由に利用できるものであり、その他の理由では利用す
ることができないとされている。
- 2 利用期間は、おおむね20日以内を限度とし、市町村が必要があると認めた場合には、
必要最小限の範囲内でその期間を延長することができるかとされている。
- 3 この事業は、原則として児童養護施設を実施施設と定め、乳児院、保育所で実施する
ことはできないとされている。
- 4 市町村は、ひとり親家庭から利用申請があった場合にも、優先的に取り扱うなどの配
慮はしないとされている。
- 5 事業実施にあたっては、児童相談所、福祉事務所、民生委員・児童委員等の関係機関
と十分な連携をとることとされている。

問6 次の文は、児童家庭福祉行政に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童相談所は、都道府県及び指定都市のみ設置することができる。
- B 児童委員は、担当区域内の児童や妊産婦の生活状況を把握し、必要な援助・情報提供等を行うほか、地域住民による児童相談所等への要保護児童に関する通告を仲介する役割も担う。
- C 「売春防止法」に基づき設置される婦人相談所は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に基づき設置される配偶者暴力相談支援センターとしての機能も果たすことができる。
- D 市町村は、1997(平成9)年の「児童虐待の防止等に関する法律」の改正により、児童家庭福祉に関する一義的な相談窓口と位置づけられた。
- E 福祉事務所には、児童家庭福祉に関する相談機能を充実させるために児童家庭支援センターを設置することができる。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A E
- 3 B C
- 4 C D
- 5 D E

問7 次の【I群】の記述と【II群】の法律又は条約を結び付けた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【I群】

- A 児童とは、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者と規定されている。
- B 基本原則として、私権は公共の福祉に適合しなければならないと規定されている。
- C 福祉サービス利用者の利益の保護及び地域における社会福祉の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明かつ適正な実施の確保及び社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もって社会福祉の増進に資することが目的とされている。
- D 児童とは、18歳未満のすべての者と規定されている。
- E 児童とは、20歳に満たない者と規定されている。

【II群】

- ア 民法
- イ 児童の権利に関する条約
- ウ 母子及び父子並びに寡婦福祉法
- エ 社会福祉法
- オ 児童手当法

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | エ | ア | オ | ウ |
| 2 | ウ | ア | イ | エ | オ |
| 3 | エ | ア | イ | オ | ウ |
| 4 | オ | ア | エ | イ | ウ |
| 5 | オ | エ | ア | イ | ウ |

問8 次の文は、「児童福祉法」における保育士に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 保育士となる資格を有する者が保育士となるには、市町村に備える保育士登録簿に氏名、生年月日その他厚生労働省令で定める事項の登録を受けなければならない。
- 2 保育所に勤務する保育士は、乳児、幼児等の保育に関する相談に応じ、及び助言を行うために必要な知識及び技能の修得、維持及び向上に努めなければならない。
- 3 保育士でない者は、保育士又はこれに紛らわしい名称を使用してはならず、これに違反した者は30万円以下の罰金に処される。
- 4 保育士は、その信用を傷つけるような行為をしてはならず、これに違反したときは、その登録を取り消され、又は期間を定めて保育士の名称の使用の停止を命ぜられることがある。
- 5 保育士は、正当な理由なくその業務に関して知り得た人の秘密を漏らしてはならず、これは保育士でなくなった後も同様である。

問9 次の文は、「平成29年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（平成29年5月1日現在）」（厚生労働省）についての記述である。正しいものを一つ選びなさい。

- 1 放課後児童クラブの設置・運営主体は、公立民営が最も多く、次いで国立民営、公立公営の順で多かった。
- 2 学年別登録児童数の状況を見ると、全体の登録児童数に占める小学4年生から6年生の割合は、平成28年と比べて増加した。
- 3 利用定員の設定規模別クラブ数の状況では、「定員20人～35人」のクラブが最も多かった。
- 4 市町村における運営指針（ガイドライン）の策定状況では、「都道府県の運営指針を活用」している割合が「国の運営指針を活用」している割合よりも多かった。
- 5 運営内容の第三者評価の実施状況では、平成28年と比べて「第三者評価の実施有り」のか所数は減少した。

問10 次の文は、児童家庭福祉の専門職・実施者に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童養護施設、障害児入所施設及び児童自立支援施設の長は、学校教育法に規定する保護者に準じて、その施設に入所中の児童を就学させなければならないが、児童心理治療施設の長についてはこの限りではない。
- B 児童相談所長は、小規模住居型児童養育事業を行う者又は里親に委託中の児童等で親権を行う者又は未成年後見人のないものに対し、親権を行う者又は未成年後見人があるに至るまでの間、親権を行う。
- C 児童福祉施設の長は、入所中の児童等で親権を行う者又は未成年後見人のないものに対し、親権を行う者又は未成年後見人があるに至るまでの間、親権を行う。
- D 児童養護施設の長は、当該施設の所在する地域の住民につき、児童の養育に関する相談に応じ、及び助言を行わなければならない。
- E 児童福祉施設の長は、親権を行う者又は未成年後見人のある入所中の児童等について、児童等の生命又は身体の安全を確保するため緊急の必要がある場合であっても、親権を行う者又は未成年後見人の意に反する場合は、監護、教育及び懲戒に関してその児童等の福祉のため必要な措置をとることはできない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 C D
- 5 D E

問 11 次の文は、平成 29 年 5 月に発表された「子育て安心プラン」(以下、プランとする。)に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 プランでは、平成 30 年度から平成 34 年度末までの 5 年間で、女性の就業率 50%に対応できる保育の受け皿を整備していくこととしている。
- 2 プランでは、待機児童の 7 割超が 3 歳児以上であることを踏まえ、3 歳児以上の受け皿整備を強力的に推進するとしている。
- 3 プランで示された平成 29 年 4 月 1 日時点での待機児童の状況について、全国の都道府県のうち、神奈川県は待機児童数が最も多かった。
- 4 プランでは、待機児童が都市部に多いことを踏まえ、支援パッケージの内容に、都市部の大規模マンションでの保育園の設置促進を盛り込んでいる。
- 5 プランで示された支援パッケージの内容には、保育人材の確保に関する取組みは盛り込まれていない。

問12 次の文は、母子保健サービスに関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「母子保健法」では、体重が1,500グラム未満の乳児が出生したとき、保護者はその旨をその乳児の現在地の市町村に届け出なければならないと規定している。
- B 「母子保健法」により厚生労働大臣が定めることとされている、出産までの期間における妊婦健康診査の望ましい受診回数は、6回程度である。
- C 「健やか親子21」は、21世紀の母子保健の取り組みの方向性と指標や目標を示したものであり、関係機関・団体が一体となって、その達成に向けて取り組む国民運動計画として、「健康日本21」の一翼を担うものとされている。
- D マタニティマークは、「健やか親子21（第1次）」において示された、妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保という課題の解決に向けて、妊産婦に対する社会の理解と配慮を促すことを目的に発表されたものである。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問13 次の文は、「社会的養育の推進に向けて（平成29年12月）」（厚生労働省）の里親に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 里親手当は、平成29年度に養育里親、専門里親ともに引き上げられた。
- 2 全国の里親等委託率（※）は、平成28年度末では平成27年度末に比べて増加した。
- 3 新潟市の里親等委託率（※）は、平成28年度末では全国平均よりも高かった。
- 4 里親支援事業について、事業の全部又は一部を特定非営利活動法人（NPO法人）に委託することはできない。
- 5 里親支援事業の共働き家庭里親委託促進事業では、平日夜間、土曜、日曜、祝日の相談支援体制の整備を行うこととしている。

※ 「里親等」には、平成21年度から制度化されたファミリーホーム（養育者の家庭で5～6人の児童を養育）を含む。

問14 次の文は、児童虐待に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「平成28年度福祉行政報告例の概況」（厚生労働省）から、平成28年度中に全国の児童相談所が対応した児童虐待相談を被虐待者の年齢別にみると、「7歳から12歳」の構成割合は「0歳から6歳」の構成割合よりも大きい。
- 2 「平成28年度福祉行政報告例の概況」（厚生労働省）から、平成28年度中に全国の児童相談所が対応した児童虐待相談を相談の種別でみると、「心理的虐待」の構成割合はおよそ3割を占めている。
- 3 「児童養護施設入所児童等調査結果(平成25年2月1日現在)」(厚生労働省)によると、児童養護施設入所児のおよそ4割が虐待を受けた経験をもつ。
- 4 市町村は、相談・通告を受けた虐待事案を児童相談所に送致することができるが、児童相談所から市町村に対しては虐待事案を送致することができない。
- 5 厚生労働省では、社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待防止のための広報・啓発活動等を集中的に実施している。

問 15 次の文は、「平成 29 年版 犯罪白書」（法務省）についての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 少年の刑法犯、危険運転致死傷及び過失運転致死傷等の検挙人員について、平成 28 年は戦後最少であった。
- 2 犯罪少年による特別法犯の送致人員について、平成 18 年以降は薬物犯罪より軽犯罪法違反の人員が多くなっている。
- 3 犯罪少年による大麻取締法違反の送致人員は、平成 26 年から 3 年連続で増加している。
- 4 少年による家庭内暴力事件の認知件数の総数について、平成 28 年は平成 27 年より微減した。
- 5 平成 28 年のいじめに起因する事件の事件数及び検挙・補導人員は、平成 27 年より減少した。

問 16 次の文は、障害児福祉に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 特別児童扶養手当の支給額は、障害の程度に応じて 1 級から 3 級に区分されている。
- 2 行政機関等は、障害者から現に社会的障壁の除去を必要としている旨の意思表示があった場合において、その実施に伴う負担が過重でないときは、当該障害者の性別、年齢及び障害の状態に応じて、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮をしなければならない。
- 3 放課後等デイサービスの利用対象は、幼稚園、小学校、中学校及び義務教育学校に就学している障害児である。
- 4 在宅型児童発達支援とは、重度の障害の状態等により児童発達支援等の障害児通所支援を受けるために外出することが著しく困難な障害児の居宅を訪問して、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与等の支援を実施するものである。
- 5 障害児入所施設へ入所する場合は、都道府県に支給申請を行い、支給決定を受けた後に利用する施設と契約を結ぶかたちが取られており、措置制度による入所は一切行われない。

問 17 次の文は、厚生労働省が策定した「放課後児童クラブ運営指針」（以下、指針とする。）に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 指針では、「児童の権利に関する条約」の理念に関しては触れられていない。
- B 指針では、子ども自身への支援とともに、学校等の関係機関との連携の必要性について述べられている。
- C 指針では、子どもや保護者の苦情等に対する対応については触れられていない。
- D 指針では、障害のある子どもについては、まず放課後等デイサービスを利用することを勧められている。
- E 指針では、子ども集団の規模は、放課後児童支援員等が個々の子どもと信頼関係を築いたりできる規模として、おおむね 30 人以下とされている。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × | ○ |
| 5 | × | ○ | × | × | × |

問18 次の文は、保育所等訪問支援に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所等訪問支援は、「児童福祉法」に規定される障害児通所支援の一つとして位置づけられている。
- B 保育所等訪問支援における専門的な支援としては、訪問する施設の職員に対する支援方法の指導等だけではなく、障害児本人に対する集団生活適応のための訓練等も行われる。
- C 乳児院は入所型施設であるため、保育所等訪問支援における訪問先にはなっていない。
- D 障害児が通う保育所は、保育所等訪問支援の利用の必要性を感じてもその利用申請を行うことはできない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | × |

問19 次の文は、UNICEF（国際連合児童基金）の「世界子供白書2016」に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 最も貧しい子どもたちの5歳未満の死亡率を、最も裕福な子どもたちと比較すると、およそ2倍となっている。
- 2 世界のおよそ4割の子どもたちが読んだり、書いたり、簡単な算数を学ぶことなく小学校を卒業している。
- 3 現在の傾向が続いた場合、2030年には初等学校就学年齢にありながら学校に通えない子どもたちが6,000万人以上となり、世界全体の初等教育の修了率は5割を下回ると予測している。
- 4 現状のままだと、2030年に極度の貧困下（1日あたり1.90米ドル未満）で生活する世界の子どもの10人に9人はサハラ以南のアフリカに暮らすと予測している。
- 5 世界の就学年齢の子どもたちの4人に1人は、紛争の影響下の国で暮らしている。

問20 次の文は、子ども・若者支援に関する地域における連携・ネットワーク活動についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「ひきこもり地域支援センター」は、ひきこもりに特化した専門的な第一次相談窓口としての機能を持つほか、保健・医療・福祉・教育・就労といった地域における関係機関とのネットワークの構築や、ひきこもり対策に関する情報提供等、地域におけるひきこもり支援の拠点としての役割を担うものであり、都道府県、指定都市が実施主体となる。
- B 「地域若者サポートステーション」は、就労支援機関、教育機関、保健・福祉機関、行政機関等、さまざまな機関とネットワークを構築し、働くことに悩みを抱えている15歳～39歳までの若者に対して、キャリアコンサルタントなどによる専門的な相談、コミュニケーション訓練、就労体験などにより、就労に向けた支援を行うものであり、すべての都道府県に設置されている。
- C 「いじめ問題対策連絡協議会」は、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携を図るため、地方公共団体が設置できるものであり、学校、教育委員会、児童相談所、法務局又は地方法務局、都道府県警察その他の関係者により構成される。
- D 「子ども・若者支援地域協議会」は、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対し、様々な機関がネットワークを形成し、それぞれの専門性を生かした発達段階に応じた支援を効果的かつ円滑に実施する仕組みとして、地方公共団体に設置の努力義務があるものであり、教育、福祉、保健、医療、矯正、更生保護、雇用その他の関係機関等によって構成される。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |